

市報

とがまち 1

/10
January

編集発行 / 十日町市役所 (電話47-3111) 毎月10日 / 昭和32年6月5日 第3種郵便物認可 (1部6円)

□291号□

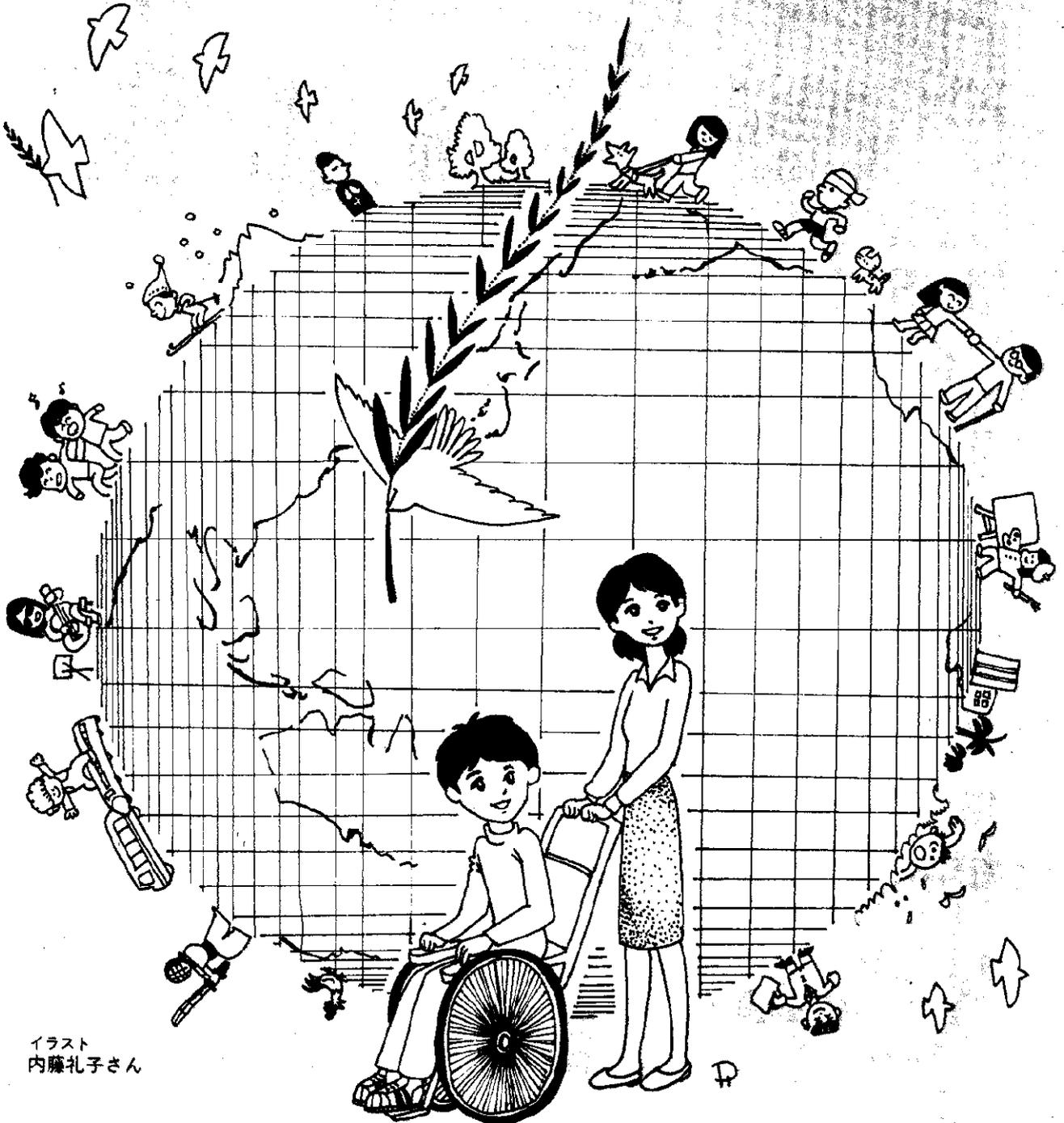


イラスト
内藤礼子さん

明けましておめでとうございます

みんなが参加し

みんなが平等に暮らせる

よりよい地域社会づくりをめざして...

～今年が“国際障害者年”です～



"豪雪"から生活を守るために 市民全員で協力体制を!

1 / 5 (月) 正午
雪害対策本部
(本部長 緒里市長)
を設置しました
(☎7-3111 番内線268)



〈夜間除雪〉

道路確保のため、市の雪害対策本部では、夜間6時半から、11時までの間に夜間除雪を行っています。ブルドーザー5台、タイヤショベル4台、グレーダー2台、ロータリー3台をそれぞれローリングしてやっています。夜間は、それだけ危険もありますので、該当地域の市民の皆さんのご協力をお願いします。

雪害被害状況

- 屋根からの転落事故
……3件 (全部重傷)
- 水あがり
床下浸水……3件
床下浸水……5件
便槽浸水……12件
- 家屋倒壊
工場倒壊……2件
(人災被害なし、機械に被害)

(1月6日現在)

道路確保のため全力をあげています

市民の皆さんの協力が必要

積雪が多くなり、各家の雪降りしの回数も増え、その投雪された雪による被害が多発しています。

市では、この豪雪から、市民の皆さんの生活を維持するため第一に道路の確保を図り、日夜の除雪作業を行っています。

それには、市民の皆さんのご理解とご協力が必要です。

現在の異常集中豪雪により、道路確保がむづかしくなった時生活は絶対に混乱する——ことを踏まえ、特に次の点にご注意ください。

屋根雪の除雪

最悪の状態をまぬがれるために、屋根雪除雪については、出来るだけ道路上に投雪しないよう心がけ、やむを得ず除雪したものは、すみやかに排除する。自分で落としたりした雪は、自らが排除するのが基本です。

毎日毎日、こまめにその除雪作業をやっている人もいるし、そうでない人もいます。現在の異常集中豪雪の中で、こうした時こそ、自分たちの生活を守るために、お互いが、がまんするところは、がまんし、ゆずりあ

うところは、ゆずりあいながら市民一丸となって協力することこそが大切なのです。

違法駐車禁止

道路確保のため、懸命な除雪作業が続けられていますが、除雪の最大の障害は違法駐車です。違法駐車には、警察署、土木事務所、市でも例年にない強い態度で対処しており、五日には本町三丁目以前夜から駐車してあった乗用車がレッカー車で排除され、駐車違反の取り締まりも徹底してやられています。道路確保の最大の障害になる違法駐車を皆んなでなくしましょう。



事故防止を

水あがり防止を

今冬に入って、床上、床下、便槽等の浸水は、すでに十数件の被害が発生しています。このほとんどが、流雪溝、道路側溝、セキ等への無謀な雪の投げ入れが起因しています。

流雪の能力を考えながら、さらに、下流地域の状況を把握したうえで、計画的に利用するようにはしましょう。

火(災)予防

雪おろし、道路除雪などに、防火水筒や消火栓が、雪に埋まることがないように十分に注意してください。さらに、豪雪の中における消防体制を考え、火災を絶対に出さないように気をつけましょう。

雪おろし転落事故に注意を!!

回数も多く、すでに雪を掘りあげなければならないところも出ているようですが、異常豪雪の中での雪おろしは特に危険が



伴いますので、平常の状況より十分注意して雪おろしをしてください。また、危険とおもわれる家は早急に雪おろしをするようにしてください。

道路確保が

もしも

できなく

なったら

.....

現在の道路交通状況は、きわめて悪くなっている。違法駐車や屋根からの投雪などにより交通が混乱し、加えて異常集中豪雪により、道路確保ができなくなったとき、市民生活は果たしてどうなるのだろうか.....



ゴミ及びし尿の収集、救急患者輸送・歩行通院ができなくなる。さらに生鮮食品の入荷なども危惧される状態になる。

また、学校、保育所のスクールバス・通園バスや市内循環バス等、交通機関は完全にマヒし孤立状態に陥る。



◇ ◇ ◇

◇ 商業は、生産、販売などの日常の活動が大幅に制約を受け原材料の仕入、製品出荷、商品売上、従業員の確保、資金繰り等、全ての面で大きな影響を受けることになる。

◇ こうした最悪の状態にさせないために——

◇ 市民ひとりひとりの協力が絶対に必要なのです。そして、現在の異常豪雪に対して、行政も、市民も一丸となった対応こそが、この事態を乗り切るための最善の方法です。

◇ 雪に関する事故・被害はすみやかに

◇ 雪害対策本部に連絡を

「雪水のはねあげ」防止

中条下町・旭町・中町地区の運動

雪国に住むものなら、誰れしも一度や二度は、雪水のはねあげによる被害を受けているのではないだろうか。

車などによる雪水のはねあげは、運転者が、歩行者の身になって、注意をはらい運転することが一番大切なのです。

しかし、こうした常識的な防止の方法も、今では、はつきりとした成果として表われていないのが実情のようです。

そこで、中条の下町、旭町、中町の三地区では、こうした被害を少なくする目的で、朝の子どもたちの登校時間(約三十分



地域成果



中条旭町 岩田 義信さん

消雪パイプを通勤・通学時くらはい停められぬだろうか... という声は数年前から出ていました。この地区は、道路幅が狭く、歩道の確保に問題があり、さらに雪水のはねあげの問題です。この状況の中で、歩行者のことを考えた時、特に子供たちがかわいそうだったので、小学校PTAの運動を起点に、地区交

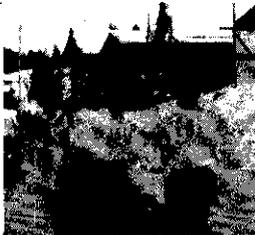


中条小学校長 松原 昭吾さん

学校としても非常に喜んでいきます。冬期間は、車のラッシュ時は、はずし三十分遅らせて児童たちを登校させていますが、児童たちも助かっているようです。しかし、この運動が全てを解決するものではなく、歩道の確保、安全性など、大きな課題もあります。



一年下の者には追越されまい



新春恒例 1月2日～新座地区～

ジョギングマラソン



消防職員：火の用心にひと工夫



皆さんの声援に送られて... おじいちゃんガンバレ。



汗をかいたあとのどん汁

一月二日、小雪降る中、新座地区で、新春恒例のジョギングマラソンが行われました。

六歳の子どもさんから七十歳のおじいちゃんまで、三・五・十キロの距離を参加者(百六十三名)の全員が完走しました。

年頭所感

市長 諸里 正典



市民の皆さん、あけましておめでとございます。一九八〇年は、内外とも激動の一年でしたが、新しく迎えたこの年が、市にとっても市民にとっても素晴らしい一年であって欲しいと心から願っております。

私達は、六十年代から七十年代にかけて、世界でも例のないスピードで豊かな社会を築き、人間が生きてゆく限度をはるかに上廻る「モノ」を持つことができました。しかし、一九七六

年の第一次オイルショックで石油が有限の資源であると知らされ、反省が生まれ、真の豊かさとは持つものの量やカッコ良さではなく、生活の質であり生甲斐の問題であると気づきました。

消費者のものを眼が変わり、市の基幹産業の織物もかつてない事態に追いこまれていきました。現在の十日町織物が立たされていく試練こそ甘い夢との決別であり、無秩序と無反省な豊かさ志向への反動だと思えるのです。その意味では、十日町織物の真価を問われるのはこれからが本番とも言えます。

この第一の面から決めてはかなければなりません。第一次、第二次、第三次産業をそれぞれの市の個性の中で位置づけ、構築してゆくのが基本であり原点です。

これからの都市造りは、産業構造の計画と市民の生甲斐といふ二つの面から決めてはかなければなりません。第一次、第二次、第三次産業をそれぞれの市の個性の中で位置づけ、構築してゆくのが基本であり原点です。

長年の懸案であった苗場山麓の農業開発は今年が決断の年であり、シルクコンビナート構想は漸く実施の段階に入ります。

第二次産業は、織物や織物産業がこれまでつちかかって来た流通先などと運動しながら、この町のもつ資源と文化を活かした新しい地場産業の掘り起こしにも踏み込まなければなりません。

市議会の動き

54年度決算を認定 各種使用料を改定

市議会第4回定例会は、12月5日から19日まで15日間開催されました。この議会では、人権擁護委員に竹内茂氏を推せんし、十日町市武道館条例など59議案(請願4件、陳情4件を含む)が審議され、59議案について可決、採択、議決されました。また、市政についての一般質問は5名の議員が行いました。

今議会で審議された主なものは次のとおりです。

●人権擁護委員候補者の推せん

竹内茂氏を推せん

●十日町市武道館条例制定

●各種使用料を改定

上水道、簡易水道、博物館、市民体育館、屋外体育施設、市民プール、公立学校、市民会館、公民館、露店市場、手数料、市営住宅条例の使用料を改定

●昭和54年度一般会計歳入歳出決算認定

●一般質問の主な内容

水野寛男議員 (雇用の安定対策について、高齢者事業団、心障者対策など福祉対策について)

橋本真一議員 (枯橋原放送電線建設について、山間地青年の育成と環境づくりについて、道路行政について、冬期バス通学に伴う除雪対策について)

上村仁平議員 (青少年非行化防止と教育育成について、市道の改良舗装について)

滝沢重治議員 (昭和56年度予算編成について、昭和55年冷害の現状と対応、56年度第2次減反政策と市の対応について、飯山線問題について、市民の健康管理について)

佐藤勝巳議員 (住みよい環境づくり、若者の定着対策、地場産業の発展と他産業の増進について)

も、いま私たちは、次の世代に十日町は何を残すべきかを真剣に考えねばなりません。

第二次産業は、高速交通体系の整備によって十日町市の位置づけが人大きく変わってきます。十日町は、長岡や関東の「一在」になると同時に、あり方如何ではそれらを逆に「一在」にすることもできます。

どんな試練の中でも、生き残る都市、生き残る市民の基盤を築くために、市民の皆様が生甲斐がどこにあるのかを常に注目しながら市民の皆さんと行政とが、水ももらさぬスクラムで総合計画が目ざす産業田園文化都市の建設にまい進してまいりたいと存じます。市民の皆さんのご協力を心からお願いたします。

国鉄越後岩沢駅と内ヶ巻駅の間にある高場山トンネル(全長一六七米)では、その年の春から、雪融け水で地盤がゆるみ、少しづつ、地すべりが始っていた。いろいろ補強工事をしながら、列車は最長行で運転をつづけていた。年末に到り、トンネル全体が沈下を始め、列車は遂に完全に運休となった。



飯山線高場山トンネル崩壊 昭和45年1月22日



その年のはかなりの大雪で、国鉄と平行して走っていた県道も雪崩で通行不能となり、当時はまだ信濃川の崖線を縫うように走っていた国道一七号線も、未舗装の部分が多く、たちまち自動車は不通となり、小千谷方面、東京方面への交通手段は、辛うじて雪峠を通る県道一本を確保するのが精一ぱいであったが、これもたちまち渋滞した。明けて一月十八日、生活物資の輸送にも不安を感じた市民は青年会議所(理事長は諸里現市長)の呼びかけに立ち上った。

(四日町新田三 佐藤栄作)



多様な企画 白い愛の祭典

三十二回十日町雪まつり

第三十二回十日町雪まつりは、二月十四日・十五日の両日盛大に開催されます。「地元の人が楽しめる様な祭り、観光客から見ても楽しいはずがない」を合言葉に、市民の皆さんからも徹底して楽しんでいただけるような企画が着々と進められています。

メインイベントの雪上カーニバルの舞台は、フランスのサクレタル寺院を模した「祈りの館」と決まり、きものショー、歌謡ショー、雪上花火と豪華絢爛にくりひろげられます。また、五つの広場も、サブテーマの「ふるさとからのメッセ」を活かした、雪国の文化が味わえるような、楽しいお祭り広場になります。雪まつりの原点の雪の芸術作品は、今年も心配なく多数の参加が予定されています。

三十二回雪まつりの概要をお知らせします。

雪上カーニバル

雪上カーニバルは、二月十四日(土)午後六時半〜八時まで城ヶ丘の特設ステージで行われます。今年の舞台は、関口修さん(角屋)のデザインした「祈りの館」です。

カーニバルは、小中学生のコーラス、地元モデル三十五名によるきものショー、小林幸子、松崎しげる、角川博、倉田まり子、スクールメイツ(五十名)、が出演する歌謡ショー、紋紙焼納、雪上花火などが豪華絢爛に繰りひろげられます。今年も、レーザー光線を使った、光りの群舞も見ものです。なお、この模様は、二月二十一日(土)午前八時三十分からの「ハイ土曜日です」の中で全国三十六局に放映されます。県内はNSTで放映



雪まつりポスター

* ふるさと広場の雪像づくりに参加しよう 申し込みは雪まつり事務局へ *

ひろば

雪まつりを盛り上げるもう一つのものは、楽しいお祭り広場です。今年の雪まつりのサブテーマ「ふるさとからのメッセ」を活かし、「ふるさと」という言葉の持つイメージ「メルヘン」「ノスタルジー」「愛・ロマン」「夢と希望」「歴史・伝統文化との邂逅」をそれぞれ

の広場のテーマにした、ストーリーのある広場めぐりが考えられています。

五つの広場は、十日町小学校グラウンド、十日町高坂グラウンド、高田町織物組合加工部跡地、立王校成会十日町教会用地、陸織物十日町工場跡地に作られます。それぞれの広場では、徹底して、明るく楽しい雪まつりにしようというアイデアを出しあい、準備を進めています。町内や団体、家族ぐるみで雪の芸術作品を製作して、一緒に広場づくりに参加してくれる人を求めています。雪まつりの原点である市民参加の手づくりのまつりにご協力ください。

雪の芸術展 参加作品募集

「雪の国の雪の中で、雪を敵にまわさずに、雪を友だちにしよう」というのが、雪まつり発生の原点です。雪まつり実行委員

会では、市民の皆さん一人一人から雪に親しんでいただくための雪の芸術展参加作品を募集しています。

出品 芸術作品の出品区分は、①一般作品、②特別作品、③学童作品の三部門です。審査対象は一般作品のみです。

審査 雪まつり委員会が委嘱した審査員が、①着想、②技術、③努力、④保存の四点から審査します。

表彰 市長賞、商工会議所会頭賞、市議会議員賞、織協理事賞など多数、入賞者には、表彰状、トロフィー、賞金、入選者には、表彰状、賞金

申し込み 一月二十日までに、十日町商工福祉会館内、雪まつり事務局(お七三七三三番)へ。

雪上カーニバル部会では、きものショー出演モデルを募集しています。自選、他選を問わず多数応募してください。

募集人員 二十五人

応募資格 ①未婚の人、②市内または近郊に住み、夜のリハールに出席可能な人、③きもの姿の似合う人

応募方法 ①住所、氏名、②生年月日、③身長、体重、④連絡先及び電話番号を記入⑤全身写真を同封し、織物工業協同組合(西寺町、西七一九一―番)

締切 一月二十日(消印有効)

雪まつり行事予定

- ◎TVキャラクターショー (ひろば)
- ◎ひろばめぐり雪上マラソン
- ◎雪上BMX大会 (ひろば)
- ◎郷土芸能と民謡の祭典
- ◎野外コンサート (ひろば)
- ◎雪まつりパレード
- ◎美術展、書道展、写真展 (十日町市民館)

- ◎ナツメロ大行進チャリティショー (十日町市民会館)
- ◎都市小中学校版画デザイン展 (十日町小)
- ◎講演会 はか
- ★協賛行事募集 1月20日までに商工福祉会館内 雪まつり事務局へ。

新春座談会

障害者にも明るい市民生活を

～今年も国際障害者年～



今年も国際障害者年です。平均寿命が延び、高齢化社会が進むにつれて、脳卒中などの後遺症などによる障害者が増えるとともに、交通事故や労働災害などによる障害者が年々増加する傾向にあります。わたしたちの誰もが障害者になる可能性を持っています。

障害者問題は、常に障害をもつ人だけでなく、わたしたち一人一人の問題です。国際障害者年にあたり、皆さんで考えてみましょう。

司会 今年も、国際障害者年です。平均寿命が延び、高齢化社会が進むにつれて、脳卒中などの後遺症などによる障害者が増えるとともに、交通事故や労働災害などによる障害者が年々増加する傾向にあります。わたしたちの誰もが障害者になる可能性を持っています。

障害者問題は、常に障害をもつ人だけでなく、わたしたち一人一人の問題です。国際障害者年にあたり、皆さんで考えてみましょう。

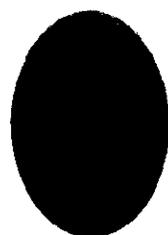
この問題を考えていただきたいと思います。

石沢 つくし園のお世話をして

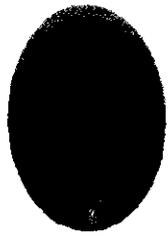
柳 手をつなぐ親の会は、現在四十七名。最初は十日町小・中学校の児童の親だけだったが、その輪を市内全部に広げてきた。そういう子を持ったというので、個々で悩みを自分の胸のうちにしまい込んでしまっていて、発散させる場所がないので、子供よりも親がまいってしまっている。親がしっかりした気持ちをもって明るくならないと子供も明るくならない。それで皆さんで集まっ

★出席者★

- 諸里 正典 (十日町市長)
- 石沢正二郎 (つくし園々々長)
- 柳 実 (手をつなぐ親の会々長)
- 井川 一雄 (精神障害者家族会々長)
- 中村まささ (明窓会：点訳奉仕)
- 村山 京子 (声の市報提供)
- 阿部フミオ (老人福祉相談員)
- 深山 美代 (身障者家庭奉仕員)
- 近藤 哲雄 (市民部長)



柳 実さん



石沢正二郎さん

て悩みを話しあったり、レクリエーションをしたりしている。

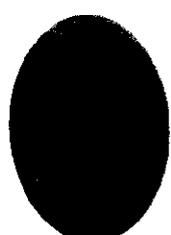
井川 私の子供が十八歳の時に発病した。親はショックで生きた心地もなかった。本人は病気で何もできなかった。本人は病気がまとまって、悩むもの同志が励ましあったり、行政に対して陳情したりしようと家族会を作っている。市内には、重度から軽度まで約四百人くらい患者がいるが、会員は七十七名である。社会の偏見というより自己の偏見で隠そう隠そうとしていて会員が増えない。

中村 明窓会は点訳奉仕をしている団体で会員は十五名、四十八年から活動をしている。活動の内容は、四月に盲人の人達の作った俳句や短歌の点訳、八月にカレンダーを四十部、それが終ると年賀状を打っている。その他に、一冊の本を全員で分担して訳している。皆んな好きでやっているが、なかなか覚えられなくて大変です。高田の盲学

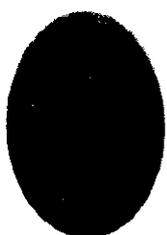
校に視察に行つて受けた印象は「目の見える人よりも、心がきれいで純粋なんだなあ」ということだった。五体満足な人は、もって勉強しなくては、

村山 私は、毎月発行されている市報をテープに録音して、目の不自由な人にお届けしている。四年くらいになるがなかなか上達しない。今は、ボランティアのつながりがないので、何人かのサークルを作って勉強したい。せっかくなので聞いていただくのだから、聞きやすいようにしたいと考えているのだが、今は手だけがなく技術も上達しない。

阿部 私は老人担当なので、ほとんど寝たきり老人です。寝たきりの人が百二十名、そのうち重度で全部を介護してやらなければならぬ人が五十五人。その原因のほとんどが卒中です。年をとると、一人の特定の人に介護してもらいたいと思うようになって、その人だけが苦勞している。市でも介護人制度を設



中村まさささん



井川一雄さん

けているが、あまり利用されていない。よその人が入るのを嫌っている。何回か通っているうちにうちとけてもらえるが、今一番困っているのが入浴の事。

風呂場まで連れてゆくのが大変だから、今度津南に出来る特別養護老人ホームの入浴の場所を解放してもらって月に一回でも二回でも入浴させてやりたい。

深山 身障者家庭奉仕員として身障家庭を訪問して、家事や介護のお世話をしている。介護の内容は、洗たく、掃除、身のまわりの世話、買物、通院の介助などで、一回二時間、週に一回か二回訪問している。こちらで訪問してやりたいと思っても、お茶のみで来てくれるのならばつれてもらっても良いが、仕事を目的に家に入ることに、最初、家族や障害者の抵抗がある。

司会 皆さんから、活動の実態や会の紹介をしていただきましたが、市長の考えを、

市長 国際障害者年、国連が中心になって、各国でも積極的に取り組み、日本でも推進本部を作って、総理大臣を本部長にしてやっている。障害者という特別な考えを持ちがちだが、今の社会は、皆んなが障害者になり得る可能性を持っている。特別な人達の問題としてでなく市民全部の問題としてとらえなければならぬ。そういう意味で先べんをつけていただいている皆さんに感謝している。

みんなが参加しみんなが平等に

司会 今年の国際障害者年のテーマが「みんなが参加し、みんなが平等に」というのですが、みんなが皆さんのご意見を聞いていて感ずることは、当然、社会が思いやりを持ち、世の中が思いやりを持つのも大切だけれども、家族のあり方、家族の考え方、親子の関係など、家族がき

然とした考え方を保持して欲しいと思う。家族が後ろめたさを持ってしまふと、社会が善意にと思つても、それがかえつて、みじめな事に感じられてしまふ。柳 ある地区に中学三年生の対象の子がいるので入会するように勧めても、あの会に入ると、家の中にそういう子供がいるというのがわかってしまふというので入会してもらえなかった。最近、一般の人達も理解があつて、私達も開けてきた。昔は、嫁に行けない、嫁の来てがない



阿部フミオさん



蒔里市長

ということがあるが、私の家には嫁も来たし、娘も嫁に行つた。家族がひがみを持っているのが一番大きな原因なのでは。

市長 市内には、いくつもある会があるのだから、大いに入会してもらつたらいい。弱い立場の人は、孤立すればするほど弱くなる。弱い立場の人ほど連帯して団結して強くなる事を考えてゆかなければならない。どんな良い会に入会して社会的に責任のある場に出でゆくことか。石沢 重度の障害児の場合は、親が子を投げだしてしまつたらその子の未来永劫をそこで投げることになってしまう。だから少しでも可能性を引き出すために、対象者はつくし園に入所させて欲しい。軽度の場合には普通学校や特殊学校に行ける可能性を持った子供達なのだから潜在能力を引き出す努力を家族と一緒にやりたい。熱心な保護さんにも恵まれて、いささか自信のようなものが出てきている。

障害者の

立場になつて

司会 大きくならないうちに施設に行つていただくと良いのですが、長年、肉親だけで世話している手放せなくなつてしまふんですね。

時々寄せていただいても、子供同志が知りあって友だちになつていふ。仲間同志のいいの場が必要だと感じます。

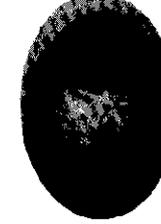
川西町のなにかの家に、十日町からも行つていふが、最初はバス停まで送り迎えをしなければならぬので大変なのだが、一年もすると自分で進んで行くようになる。この前の冬に、雪で、バスがこなかつた時に高田町から川西までズブぬれになつて歩いた子がいた。そういうこともあるのだから親達も自分の立場になつて、子供の幸せを考えて欲しい。それと、市長にお願いしたいのは、子供のうちはまだ行ける施設があるのだが、大人になると行くところがない。そういう人達が励まされたい。慰めあつたりする施設が欲しい。

市長 福祉施設は、広域的に対応しているのどの施設も十日町にもつてくるというわけにはいかない。川西町には、なかまの家、津南町には、特別養護老人ホーム、十日町では、今ある養護老人ホームやつくし園の充実と、新しく軽費老人ホームと重度心身障害者のための救護施設の建設を考えている。

柳 つくし園の園児にもマイクロボスでの送迎も考えて欲しい。やりたいし、行かせたいのだけれども足がなないので行けない子供達もいる。



深山美代さん



村山京子さん

ボランティアの

援*助*を

石沢 つくし園の場合には、母子分離を進めるために送迎用のライトバンをお願いしたいのと、もうひとつは、ボランティアの援助をお願いしたい。二月か三月頃に組織が出来るというので



近藤 市民部長

市の制度を活用して

心強く思つていふのだが。

市長 ボランティアの場合、行政が入りすぎないほうが良い。中村 私もそう思う。私がこの会に入るきっかけは、市報にでいたのが最初だった。ボランティアの活動を市報などを通して紹介してもらつたほうが良い。

市長 私の友人の豊山の奥さんが点字の専門家だ。今度、皆さんの会合に参加してもらいましょう。声の市報は、どういふ形で聞いてもらつていふのですか。村山 市の福祉事務所からテープをいただいで、それに吹きこんで、それを何本かにコピーをして、廻し聞きをしていただいでいる。仲間が少なくても、お互いに練習する機会がなく、なかなか上達しないんですよ。中村 仲間がいなかったり、少いという事はどうしても尻切れトンボになってしまう。明窓会では、月二回集まつているが、そこに行くと、点字の話だけでなく、いろいろな話が聞ける。あんまり気負ひ過ぎると負担になつて長続きしないので、自分達の出来る範囲で地道な活動をしたい。今は、辞書にとり組もうかという話もある。

市長 これからは、高齢化社会に向つて、寝たきり老人は増えるし、交通事故、労働災害による身障者も増える。精神障害も社会が複雑になつて多くなる。阿部 老人の痴呆は本当に困る。

深山 民生委員から何度か話があつても訪問を許してもらえない家庭で、その後、夫婦とも身の廻りの世話ができなくなつたので訪問を始めた。数カ月後、「こんないい制度があるならもっと早く利用してればよかった。今は、あなたなしでは、この家庭はなりたない」と言われ、嬉しかった。家庭内に別の人が入るのは大変だろうが、家族には、仕事をしたり、学校に行つたり、それぞれの分担があるから遠慮なくこの制度を利用して欲しい。奉仕員は、家族の一員になろうと努力している。

井川 精神障害者には福祉法がないので、行政の恩恵を受けられない。今年是非非制定して欲しいし、市の援助も頼みたい。

市長 障害者の問題には、いろいろなものが内在されていいて、一人一人のケースが違う。それだけにむずかしい。行政としてやらなければならぬことは、前向きで取り組んでゆく。

司会 有意義な話を聞かせていただいた。これからもそれぞれの立場で、障害者の人達が、すこしでも生活しやすい社会を作るためにご活躍いただきたい。

飲酒運転追放に

大きな成果

追放宣言署名運動



年末取締においても、その成果があらわれており、五十四年十二月運動期間中（二十五日現在）で二十六件の飲酒運転の検挙者があったのが五十五年同期で七件と大幅に減少した。

酒を飲んでも警察につかまらなければという安易な気持が、この運動、特に署名簿を通して飲んで車を運転すると事故につながるという気持を広く市民一人一人が受けとめた結果であると感謝いたしております。

飲酒運転追放県民運動が一月十日をもって終結したが、今迄にない成果と交通関係者は高く評価している。飲酒運転追放宣言署名簿の取締等地域ぐるみ、事業所ぐるみで運動が展開され十日町警察署に署名簿提出者が一万人を突破した。又警察署の

「飲んだら乗るな」の合言葉のもと「飲んべえドライバー天国」の汚名返上に一層のご協力と、家庭内の話し合い、地域ぐるみの話し合いを存続するようお願い致します。

飲酒運転検挙件数

（十日町警察署調）

〈昭和54年〉

- 1/1～12/10累計…292件
(1日平均 0.9件)
- 期間中 (12/11～12/23) ……26件
(1日平均 2件)

〈昭和55年〉

- 1/1～12/10累計…235件
(1日平均 0.7件)
- 期間中 (12/11～12/23) ……7件
(1日平均 0.5件)

東北電力側では、エネルギーのムダづかいをやめ、上手に生かしてつかうことのキャンペーンのひとつとして、省エネ標語を次の要綱により募集します。

★応募の方法—官製はがきに、標語住所、氏名、年齢、職業を記入。おひとり何点でも可

★締切日 昭和五十六年一月三十一日到着分まで有効。

★選り先 千九五一 新潟市 上大川町通五番町八十四番地東北電力側

★新潟支店省エネ標語募集係

1日1省
省エネルギー標語
募集!

市、はがき一枚について 能ですが、はがき一枚について 一点とします。

市の融資制度の貸付利率が引下げ

12月20日から年率5%引下げとなりましたので一層ご利用ください。

取扱金融機関 県信用組合、大光相互銀行、新潟相互銀行、申込先 西商二課(番七三一一番内線二六六)、西商合議所(番七三一一番)水沢商工会(番八三〇三五番)。

● 中小企業振興資金

資金の種類	貸付金額	貸付利率	返済期間	返済方法
設備資金	五〇〇万円以内	三カ年以内 年七・二五%	五カ年以内	五カ年以内月賦 均等返済
運転資金	二〇〇万円以内	年七・五〇%	四カ年以内	四カ年以内月賦 均等返済
大型店対策資金	七〇〇万円以内	四カ年以内 年七・五〇%	七カ年以内	七カ年以内月賦 均等返済
商店街等近	五〇〇万円以内	三カ年以内 年七・二五%	六カ年以内	六カ年以内月賦 均等返済
代化資金	所要資金の 八〇%以内の額	三カ年超七カ年以内 年七・七五%	六カ年以内	六カ月以内月賦 均等返済
産業界育成資金	所要資金の 八〇%以内の額	三カ年超六カ年以内 年七・五〇%	六カ年以内	六カ月以内月賦 均等返済

資金の種類 貸付金額 貸付利率 返済期間 返済方法

設備資金 三〇〇万円以内 年七・二五% (信保付六七五%) 三カ年以内 三カ月一括又は三カ年以内月賦均等返済

お米の上手な 食べ方 6大ポイント

1. 炊きいものは、ひかえめに
お米は塩分とよ味合いがあうことから、つい塩辛におかずを取りがちになります。塩分のとりすぎは高血圧の原因にもなりますので、ひかえ目にしましょう。

2. 油を使った料理を一品
植物油は、ほかの食品にくらべて、少ない量でたくさんエネルギーが得られます。また、成長発育に欠かせない必須脂肪酸を含み、体内でビタミンAの働きを助けます。

3. 肉類、大豆製品を忘れず
肉類、大豆製品を忘れずお米の主体に

4. 野菜、豆、卵、魚、海藻など、食卓のたんばく質の源をいろいろ取り入れ、お米を料理に一品を料理に、季節の野菜をたづねよう

米食士の活動 (十日町支部) [2]
—お米を食べる運動—

シリーズ No.23

十日町高校

(定時制)
生徒募集

十日町高等学校(定時制)では、次の要綱で、昭和五十六年度の生徒を募集します。

- 募集人員 普通科 一学年 四十名
- 願書受付 昭和五十六年二月二日(月)～二月九日(月) 正午まで
- 出願手続 入学願書・受験票・調査票・入学考査料(三百円)を、在学(出身)中学校長を経て、十日町高等学校長へ提出
- 入学試験日 三月十六日(月)
- その他

- ①入学後 年間所得百九十九万円未満の人には、国が卒業までの四年間修学奨学金(毎月七千円)を支給します。
- ②問い合わせは、十日町高等学校(番二一三五七五番)へ。

昭和56年度

十日町市成人式のお知らせ

- 期日 5月10日(日)
 - 該当者 昭和35年4月2日～36年4月1日生まれの当市在住者
- ※案内状は後日本人宛に送付いたします。



博物館資料ありがとうございました

(9月～12月分その2)

- 下条下組分館
- 増田謙吉 (上新田)
 - 阿部 巖 (北原)
 - 野上 浩 (高島)
 - 大島幸作 (太子堂)
 - 増山ゆき (藤沢市)
 - 田村行親 (岩野)
 - 村山米治 (岩野)
 - 高橋幸平 (小泉)
 - 遠藤滋久 (横浜市)
 - 丸山平六 (城之古)
 - 池田正勝 (塚田)
 - 新座庚申講中
 - 村山ヨシ (田川町)
- 根津一男 (稲荷町)
- 松沢清治 (丸山町)
 - 小沢康平 (小泉)
 - 林 正弘 (塩ノ又)
 - 北禮坂斎木講中
 - 本山一郎 (松之山町)
 - 柳 一徳 (高島)
 - 久保田寛治 (新水)
 - 太田鏡太郎 (北殿坂)
 - 関口英雄 (水口)
 - 中林キミ (若宮町)
 - 鹿野栄作 (泉町)
 - 大島キクエ (稲荷町)

訓練生を募集

十日町市高等職業訓練校では、つぎの要綱により五十六年度の訓練生を募集しています。

- 申込受付 三月十五日まで(申込書は訓練校にあります)
 - 申込先 十日町高等職業訓練校(本町六、番二一三八〇三番)
- なお、転職訓練の申込みは、

十日町高等職業訓練校

公共職業安定所へお願いします。募集内容は左表のとおりです。

区分	訓練科名	定員	期 間	時 間
養成訓練	建築科(普通訓練課程)	20	3カ年(4月～11月)	週4回 4:00～21:00
	建築製図科(専修訓練課程)	30	6カ月(4月～9月)	週4回 19:00～21:00
	和文タイプライ科(新設予定)	昼10 夜10	6カ月(4月～9月)	週2～3回 2:30～18:00 18:00～20:30
成人訓練	経理事務科	30	6カ月(4月～10月)	週2回 13:30～16:00
転職訓練	建設科(新設予定)	30	3カ月(1月～3月)	週5回 8:30～15:30
	配管科(新設予定)	20	3カ月(6月～9月)	週5回 8:30～15:30

公民館

六箇地区

六箇地区には、中村、二ツ屋、塩之又の三つの分館があります。地域が一本の沢つたいに点在しているため分館活動が六箇地区の活動の中心ですが、現在老人福祉センターとして、地区館が建設中であり、新年度は立派な新しい建物での事業を計画し「六箇はひとつ」のスコーガンのもとに活動をすすめていくこととしています。

中村分館

- 分館長 小杉 茂
- 主 事 小杉 義一

中村分館は六箇の次の入口で中村、山谷、麻畑の三部落からなっており、川治地区に近いため中村、山谷が川治小学校区で麻畑から六箇小学校区になっています。

婦人対象の事業では、麻畑婦人講座で活花を年間通じて行っています。メンバーは十一名ですが気の合った仲間です。展覧会や地区の文化祭に出品して腕だめしをしています。



文化祭に出品して腕だめしをしています。書きつけ講座は文化祭の前に十回行いました。手芸講座は、十月から正月前で十回、参加者は若い人からおとしりまで幅広い層の人達でそれぞれ自分に合ったものを習っています。

菊作り講座は春から秋にかけて毎月一回学習をしています。文化祭にはすばらしい菊でみなさんの目を楽しませてくれました。

二ツ屋分館

- 分館長 徳永 義雄
- 主 事 俵山 五ツ枝

二ツ屋分館は二ツ屋と船坂部落ですが、離れているために事業は両部落で行っています。編物教室は二ツ屋分館で冬場に行っています。

書きつけ講座は船坂を会場に十二月から始め冬場行っています。



二ツ屋で六箇地区の「わらほし通信のつどい」を行い講演や話し合いで有意義な一日を過ごしました。

塩之又分館

- 分館長 桑原 武
- 主 事 神田 勲

塩之又では今年から民謡講座を始め父ちゃん、母ちゃん達が分館の一室で楽しく声をはり上げています。映画教室や巡回文庫も各分館で行っています。



五十六年度 市奨学生募集

市教育委員会では、昭和五十六年度の十日町市奨学生をつぎのとおり募集します。

応募資格 昭和五十六年度に高等学校、高等専門学校、短期大学、大学に進学予定または在学中の人で、つぎに該当する人。

- (1) 本市に三年以上居住する世帯の子弟
 - (2) 学業成績が優秀と認められる人
 - (3) 経済的な理由で、学資の支弁が困難な人
 - (4) 心身共に健全な人
- 奨学金の額(月額) 高校、高等(五千円)、短大、大学(一万円)
- 賞与期間 昭和五十六年四月から、その人の在学する学校の最短期間(修業年限の終期まで)。
- 採用予定者数 高校、高等(十二名)、短大、大学(八名)
- 出願書類 奨学金貸与願書、在学学校長推薦書(成績証明書)

休電のお知らせ

▼一月二十七日(火) 午前九時正午まで、山本二丁目的一部、川治下町第一・第二、川治下町第三の一部、妻有町東二丁目的一部、妻有町東二丁目的一部、

▼一月二十八日(水) 午前九時正午まで、田中町西の一部

▼一月三十日(金) 午前九時正午後一時まで、田中町本通りの一部、上川町の一部、本町六丁目

▼二月一日(土) 本町六丁目二の一部 百四十円

寄付ありがとう

社会福祉事業へ

▼大井出民謡会 二万円

▼太田寿一(稲荷町西) 三万円

▼香典返し

▼春川(新座) 五千円

▼内藤直義(控木) 千円

▼陸野弘(高田町二) 十万円

▼香典返し

▼励ます会代表小林力三 一万八千二百円

▼太田幸雄(北廻坂二) 二万円

▼佐藤美(昭和町一) 四千六百二十六円

▼桜井益二(宇田ヶ沢) 二万円

▼香典返し

▼阿部(大黒沢二) 千円

▼十日町実業高校 第五回卒業生いっぴき会 七千五百四十円



今年もがんばります

広報協力員



写真 庭野 泰明



写真 樋口 信二

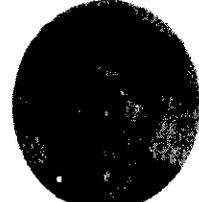


イラスト イラスト 鈴木 蘭

○大変な豪雪です。一月七日現在で山の試験地で二百四十二cm、一番多い東枯木又はは三百三十cmに達し、昭和二十年の豪雪につぐ積雪を記録しています。このため各地で事故が続発し、屋根からの転落事故三件、工場倒壊二件、床下・床上浸水十件が起っています。市では、五日、市長を本部長とする雪害対策本部を設置し、万全を期していますが、各地で市民生活に大きな支障がでています。特に除雪した直後の道路への屋根の雪おろしや、除雪のさまたげになる違法駐車にはホトホト手を焼いています。この厳しい冬は自分のことばかり言っている暇は残しません。お互いの立場を考えた賢い市民になりたいものです。

気軽にできる 家庭料理

～豚肉の野菜巻き～

作り方

- (1) 長葱は15cm位の長さになり、豚肉を斜めにおき、長葱をらせん状に巻き糸でしばる。
- (2) フライパンに油大さじ1～1.5を熱し、強火でころがし乍ら肉に焼色をつける(やきすぎぬ事)
- (3) 油をすて、肉をとり出す。たれの材料を同じフライパンで煮たて、ちょっと煮ついたら肉をもどし

■材料と分量(4人分)

材 料	分 量
豚肉す切	250g
長 葱	(中2本) 250g
糖	大さじ3
しょうゆ	大さじ3
酒	大さじ1
みりん	大さじ1
炒め油	大さじ1～1.5
七味糖辛子	少々
白木綿糸	適宜

中火でゆすり乍ら、ほとんど汁気がなくなる迄煮つめ、七味糖辛子を振りあおいで艶を出す。

一コツ

- (1) 豚肉は出来るだけうすい物を選び、重ねて巻く様にするとうやわらかでおいしい。
- (2) 葱の太い物は二ツ割りにして使う(外皮がこわいので)青い部分も使える。
- (3) たれをからませる時は中火の事、大き目のフライパンを使い、ゆすり乍ら又適当に水分を蒸発させ乍らたれをからませる。弱火だと肉がやせササパナになる。

(駆通リ 酒井 環)